

三種監発— 2 3
令和 7 年 8 月 2 7 日

三種町長 田 川 政 幸 様

三種町監査委員 田 中 金 光
三種町監査委員 松 淵 秀 和

令和 6 年度三種町公営企業会計決算の審査に係る意見の提出について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された令和 6 年度三種町公営企業会計決算の審査を実施しましたので、次のとおり意見を提出します。

令和 6 年度公営企業会計決算審査意見

1 三種町監査基準（令和 2 年三種町監査委員告示第 1 号）に準拠して実施した。

2 審査の種類

決算審査

3 審査の対象

令和 6 年度三種町公営企業会計決算報告書

令和 6 年度三種町公営企業会計損益計算書

令和 6 年度三種町公営企業会計剰余金計算書又は欠損金計算書

令和 6 年度三種町公営企業会計剰余金処分計算書又は欠損金処理計算書

令和 6 年度三種町公営企業会計貸借対照表

令和 6 年度三種町公営企業会計事業報告書

令和 6 年度三種町公営企業会計キャッシュ・フロー計算書

令和 6 年度三種町公営企業会計収益費用明細書

令和 6 年度三種町公営企業会計固定資産明細書

令和 6 年度三種町公営企業会計企業債明細書

4 審査の着眼点

予算執行の効率性及び財務分析

5 審査の実施内容

（ 1 ）実施期日

令和 7 年 7 月 2 9 日・ 8 月 2 7 日

（ 2 ）実施手続

提出された審査資料等を確認し、関係職員等からの説明を聴取した。

6 審査の結果

上記の記載事項のとおり審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であることが認められた。

7 審査の総括

(1) 水道事業

経営指標においては、供給単価¹ 171.09円は、ここ数年ほぼ横ばいで推移しているが、給水原価² 192.52円は、令和4年度の179.62円から逐年上昇している。さらに、料金回収率³ 88.87%は、過去3年の90%台を下回っているため、経営状況の健全性・収益性向上策について、早急かつ慎重に検討されたい。

山本地域の有収率⁴ 59.6%（月平均）は、前年度の61.8%（月平均）をさらに下回り、依然として低位にあるため、直ちに原因究明を行い、その対応策を示されたい。

回収の実現性のない長期末収金については、果断に事務処理を行うことで、財務諸表の適正化を図り、さらに、事務コストの削減にもつなげられたい。

水道事業は、公衆衛生の維持、日常生活の利便性、産業活動の基盤など、私たちの日常生活の根幹を支えるライフラインであるから、そのサービスの停止や質の低下は社会全体に影響を及ぼすものであることを銘記した上で、安定的な事業経営により一層取組まれたい。

(2) 下水道事業

経営指標においては、使用料単価⁵ 144.72円は、ここ数年ほぼ横ばいで推移しているが、汚水処理原価⁶ 174.72円は、令和3年度の141.03円から上昇している。さらに、経費回収率⁷ 82.83%は、令和3年度の101.97%から下がり続けており、独立採算性の低下が認められることから、その要因を正確に分析するなど、現状把握を不断に行い、経営改善につなげられたい。

大又処理場の有収率⁸ 69.1%（月平均）は、前年度同様、非常に低位にある。不明水の原因究明を行った上で、不明水を現行のまま処理し続ける場合の損失と、不明水対策として施設修繕する場合の費用との比較を早急に行い、対応策を決められたい。

下水道事業は、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全、そして、快適な生活環境の実現に至るまで、非常に幅広い領域に影響を与えるものであるから、そのサービスの安定的な提供に資するよう、事業の健全性及び効率性により一層取組まれたい。

¹ 有収水量 1 m³当たりの販売単価を表す指標

² 有収水量 1 m³当たりについて、給水にどれだけの費用がかかっているかを示す指標

³ 給水に係る費用がどの程度水道料金で賄われているかを表す指標（健全経営水準：100%）

⁴ 給水量に対して料金収入される有収水量の割合

⁵ 有収水量 1 m³当たりの使用量の水準を示す指標

⁶ 有収水量 1 m³当たりについて、汚水処理にどれだけの費用がかかっているかを示す指標

⁷ 汚水処理に要する費用がどの程度使用料で賄われているかを表す指標（健全経営水準：100%）

⁸ 処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合

公営事業会計決算の概要

1 水道事業

(1) 概要

三種町水道事業は、平成 28 年 4 月 1 日に三種町簡易水道事業と事業統合してから 9 年が経過した。

現況

当年度末の給水人口は 10,306 人で、前年度に比べ 333 人 (3.1%) 減少しており、有収水量は 1,110,090 m³で、前年度より 29,348 m³ (2.5%) 減少し、給水収益は 189,930,564 円で、前年度より 3,518,207 円 (1.8%) 減少している。

事業

三種町消火栓更新工事、浜口浄水場制御盤内 P L C 更新工事、鵜川浄水場送水流量計更新工事を実施している。

このほか、老朽化等に伴う施設設備等の更新工事を実施している。

(2) 予算執行状況

収益的収入及び支出

収入額 280,583 千円 (収入済額 260,709 千円、収入未済額 19,873 千円)、支出額 285,393 千円、差引額 4,810 千円の赤字である。

水道料の収入済額は 194,874 千円であり、調定額 208,923 千円に対する収入率は 93.2% (前年度 92.3%) となっている。

支出済額 285,393 千円は、予算現額 289,956 千円に対する執行率が 98.4% (前年度 96.7%) となっている。

収益的収入

(単位：千円 [消費税込み] %)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
営業収益	220,061	215,564	195,716	19,848	90.7
給水収益	213,000	208,923	194,874	14,049	93.2
その他	7,061	6,641	842	5,799	12.6
営業外収益	64,612	64,370	64,345	25	99.9
受取利息及び配当金	22	164	164	0	100.0
一般会計補助金	10,277	9,781	9,781	0	100.0
加入金	907	1,018	993	25	97.5
長期前受金戻入益	53,316	53,315	53,315	0	100.0
雑収益	90	90	90	0	100.0
特別利益	651	648	648	0	100.0
過年度損益修正益	1	0	0	0	-
その他	650	648	648	0	100.0
合 計	285,324	280,583	260,709	19,873	92.9

収益的支出

(単位：千円 [消費税込み] %)

科 目	予算現額	支出済額	不 用 額	執 行 率
営業費用	272,461	269,772	2,688	99.0
原水費及び浄水費	66,620	63,747	2,872	95.6
配水及び給水費	22,340	21,213	1,126	94.9
総係費	41,546	40,254	1,291	96.8
減価償却費	139,111	141,713	2,602	-
資産減耗費	2,844	2,842	1	99.9
営業外費用	15,572	15,551	20	99.8
支払利息及び企業債取扱諸費	5,593	5,592	1	99.9
雑支出	20	0	20	0.0
消費税及び地方消費税	9,959	9,958	1	99.9
特別損失	71	70	1	98.5
過年度損益修正損	71	70	1	98.5
予備費	1,852	0	1,852	-
合 計	289,956	285,393	4,562	98.4

資本的収入及び支出

収入額 52,972 千円（収入済額 37,549 千円、収入未済額 15,422 千円）、支出額 99,432 千円、差引額 46,460 千円の不足となっているが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金により補填されている。

一般会計からの出資金は、33,206 千円（前年度 38,475 千円）である。

支出済額 99,432 千円は、予算現額に対する執行率が 98.0%（前年度 98.1%）となっている。

資本的収入

（単位：千円〔消費税込み〕％）

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
出資金	33,207	33,206	33,206	0	100.0
負担金	19,822	19,765	4,342	15,422	21.9
合 計	53,029	52,972	37,549	15,422	70.8

資本的支出

（単位：千円〔消費税込み〕％）

科 目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
建設改良費	33,036	33,018	0	17	99.9
企業債償還金	66,414	66,413	0	1	99.9
予備費	2,000	0	0	2,000	-
合 計	101,450	99,432	0	2,017	98.0

(3) 経営成績

総収益 261,074 千円、総費用 267,090 千円、当年度純利益 6,015 千円である。

これに前年度繰越利益剰余金 85,024 千円を加えた当年度末処分利益剰余金は、91,040 千円である。

総収支比率は、総収益に対する総費用の割合を表す指標であり、数値が100%未満の場合、単年度赤字であることを示す。

当年度は 97.7%であり、前年度に比して 5.4 ポイント減少している。

営業収支比率は、給水収益等で維持管理費等をどの程度賄えているかを表す指標であり、数値は 100%を超えるほど良いことになる。

当年度は 75.1%であり、前年度に比して 4.7 ポイント減少している。

(単位 : 千円 [消費税抜き] %)

区 分	当 年 度	前 年 度	増 減 額	増減率
総収益	261,074	266,672	5,598	2.0
うち営業収益	196,044	199,789	3,745	1.8
総費用	267,090	258,571	8,519	3.2
うち営業費用	260,728	250,267	10,461	4.1
当年度純利益	6,015	8,100	14,115	174.2
前年度繰越利益剰余金	85,024	93,125	8,101	8.6
当年度末処分利益剰余金	91,040	85,024	6,016	7.0
総収支比率	97.7	103.1	—	—
営業収支比率	75.1	79.8	—	—

(4) 企業債の状況

企業債の状況は、次表のとおりである。

当年度末の残高は 414,943 千円となり、前年度末に比して 66,413 千円減少している。

(単位 : 千円)

前年度末 現 在 高	当 年 度 中		当年度末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
481,356	0	66,413	414,943

2 下水道事業

(1) 概要

三種町下水道事業は、令和 2 年 4 月 1 日に特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業が経理上の事業統合を行い、地方公営企業法の規定を全部適用し、公営企業会計に移行した。

現況

当年度末の水洗化人口は 8,800 人で、前年度に比べ 206 人 (2.2 %) 減少しており、有収水量は 1,066,842 m³で、前年度より 19,374 m³ (1.7 %) 減少し、営業収益は 154,657,063 円で、前年度より 2,098,157 円 (1.3 %) 減少している。

事業

特定環境保全公共下水道事業では、社会資本整備総合交付金を活用し、ストックマネジメント計画に基づく管路・機械設備の改築更新を実施している。

農業集落排水事業では、芦崎処理区の下水道接続事業について、基本設計等の作成を実施している。

このほか、経年劣化等に伴う機械設備等の更新及び修繕を行っている。

(2) 予算執行状況

収益的収入及び支出

収入額 576,749 千円 (収入済額 563,433 千円、収入未済額 13,315 千円)、支出額 562,175 千円、差引額 14,574 千円の黒字である。

使用料の収入済額は 156,516 千円であり、調定額 169,832 千円に対する収入率は 92.1% (前年度 90.4%) となっている。

支出済額 562,175 千円は、予算現額 571,495 千円に対する執行率が 98.3% (前年度 98.8%) となっている。

収益的収入

(単位：千円 [消費税込み] %)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
営業収益	170,979	170,096	156,780	13,315	92.1
使用料	170,744	169,832	156,516	13,315	92.1
その他	235	263	263	0	100.0
営業外収益	403,407	405,467	405,467	0	100.0
受取利息及び配当金	1	55	55	0	100.0
一般会計補助金	245,820	245,820	245,820	0	100.0
国庫補助金	1	0	0	0	-
長期前受金戻入益	157,583	157,594	157,594	0	100.0
引当金戻入	1	0	0	0	-
雑収益	1	0	0	0	-
消費税及び地方消費税還付金	0	1,997	1,997	0	100.0
特別利益	1,347	1,185	1,185	0	100.0
過年度損益修正益	1	0	0	0	-
その他	1,346	1,185	1,185	0	100.0
合 計	575,733	576,749	563,433	13,315	97.6

収益的支出

(単位：千円 [消費税込み] %)

科 目	予算現額	支出済額	不 用 額	執 行 率
営業費用	520,058	513,220	6,837	98.6
下水道事業管渠費	42,034	41,463	570	98.6
農業集落排水管渠費	3,700	3,071	628	83.0
農業集落排水処理場費	29,110	27,295	1,814	93.7
下水道総係費	17,304	15,940	1,363	92.1
農業集落排水総係費	7,603	7,083	519	93.1
流域下水道維持管理負担金	71,321	69,750	1,570	97.7
減価償却費	346,027	346,023	3	99.9
資産減耗費	2,959	2,591	367	87.5
営業外費用	49,400	48,835	564	98.8
支払利息及び企業債取扱諸費	48,900	48,835	64	99.8
消費税及び地方消費税	500	0	500	0.0
特別損失	122	120	1	98.3
過年度損益修正損	121	120	1	99.1
その他	1	0	1	0.0
予備費	1,915	0	1,915	-
合 計	571,495	562,175	9,319	98.3

資本的収入及び支出

収入額 356,491 千円（収入済額 356,491 千円、収入未済額 0 千円） 支出額 565,963 千円、差引額 209,472 千円の不足となっているが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金により補填されている。

一般会計からの出資金は、155,841 千円（前年度 128,764 千円）である。

支出済額 565,963 千円は、予算現額から翌年度繰越額を差し引いた額 572,298 千円に対する執行率が 98.8%（前年度 98.9%）となっている。

資本的収入

（単位：千円〔消費税込み〕%）

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
企業債	186,200	178,000	178,000	0	100.0
補助金	22,651	22,650	22,650	0	100.0
負担金	2	0	0	0	-
出資金	155,841	155,841	155,841	0	100.0
合 計	364,694	356,491	356,491	0	100.0

資本的支出

（単位：千円〔消費税込み〕%）

科 目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
建設改良費	97,693	88,475	8,886	331	99.6
固定資産取得費	1	0	0	1	-
企業債償還金	477,490	477,488	0	1	99.9
予備費	6,000	0	0	6,000	-
合 計	581,184	565,963	8,886	6,334	98.8

(3) 経営成績

総収益 559,356 千円、総費用 550,722 千円、当年度純利益 8,633 千円である。

これに前年度繰越利益剰余金 154,499 千円を加えた当年度末処分利益剰余金は、145,865 千円である。

総収支比率は、総収益に対する総費用の割合を表す指標であり、数値が 100%未満の場合、単年度赤字であることを示す。

当年度は 101.5%であり、前年度に比して 0.7 ポイント増加している。

営業収支比率は、下水道使用料等で維持管理費等をどの程度賄えているかを表す指標であり、数値は 100%を超えるほど良いことになる。

当年度は 30.9%であり、前年度に比して 0.4 ポイント減少している。

(単位 : 千円 [消費税抜き] %)

区 分	当 年 度	前 年 度	増 減 額	増減率
総収益	559,356	561,955	2,599	0.4
うち営業収益	154,657	156,755	2,098	1.3
総費用	550,722	557,046	6,324	1.1
うち営業費用	499,446	500,031	585	0.1
当年度純利益	8,633	4,908	3,725	75.8
前年度繰越利益剰余金	154,499	159,407	4908	3.0
当年度末処分利益剰余金	145,865	154,499	8,634	5.5
総収支比率	101.5	100.8	—	—
営業収支比率	30.9	31.3	—	—

(4) 企業債の状況

企業債の状況は、次表のとおりである。

当年度末の残高は 3,617,872 千円となり、前年度末に比して 299,491 千円減少している。

(単位 : 千円)

前年度末 現 在 高	当年度中		当年度末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
3,917,362	178,000	477,488	3,617,872

収 入 未 済 額 集 計 表

(単位：円)

項 目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
水道事業会計	29,252,428	41,010,215	38,655,775
水道料金	25,767,428	37,525,215	35,170,775
延滞金	3,485,000	3,485,000	3,485,000
下水道事業会計	21,817,880	23,404,683	21,143,303
下水道料金	18,348,400	20,107,623	18,036,343
農業集落排水料金	1,502,840	1,502,920	1,312,820
下水道受益者分担金	1,876,640	1,741,640	1,741,640
農業集落排水受益者分担金	90,000	52,500	52,500
合 計	51,070,308	64,414,898	59,799,078

不 納 欠 損 額 集 計 表

(単位：円)

項 目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
下水道事業会計	107,330	44,060	31,800
下水道料金	104,310	44,060	22,590
農業集落排水料金	3,020	0	9,210
合 計	107,330	44,060	31,800